※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	高校硬筆練習帳（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　書写の授業で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学び、自分なりの表現方法で作品を制作し、それぞれの表現に対する理解を深めていく。
・　楷書から篆隷行草に至るまで様々な書体を体験し、筆の特性を使いこなし、自己表現としての作品を書くことが出来るようになることをめざす。
・　身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

・知識及び技能
　書の表現方法や型式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・思考力、判断力、表現力等
　書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・学びに向かう力、人間性等
　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・　書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・　書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ　漢字の書　楷書	・書写の確認 ・用具・用材 ・姿勢・執筆 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・牛橛造像記	a: 用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c:主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
2学期	漢字の書　行書	・蘭亭序 ・風信帖 ・争坐位文稿	a:行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している c: 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
	漢字仮名交じりの書	・表現を比べよう ・古典を生かした表現 ・線による表現の広がり ・紙面構成 ・創作 ・鑑賞	a: 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出物 振り返りシート	提出物	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	仮名の書	・仮名の成立 ・仮名の単体 ・変体仮名 ・連綿 ・高野切三種	a:日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 b:仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構成し工夫している。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度